キャラクター名
サチ

プレイヤー名

メインクラス	バナレット	**Lv.1:**		**レベル**	50
サポートクラス	ニンジャ	**Lv.1:**	カンナギ	**性別**	女
称号クラス				**年齢**	-
種族	エクスマキナ			**境遇**	義理の親
出自（効果）	神官			**目標**	憧憬

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	75	63	7	9	9	60	6
ボーナス	25	21	2	3	3	20	2
クラス修正	3	3	1	1	0	0	0
他修正							
能力値	28	24	3	4	3	20	2

HP	564
MP	370
フェイト	51

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	キャリバー		-1	80				-5	
左手	クラーケンウィップ		-3	22				-3	
頭部	ラウールの兜				-1	3	0		
胴部	デュエルドレス					6	5		
補助	パワーアシスト				-3	5	3		
装身具	神威のアミュレット								
能力値			24	0	3	0	20	6	33
スキル									
その他									
総計(右)			23	80	-1	14	28	0	33 m
総計(左)			21	22					
総計(両)			20	102					
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	24			24	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	4			4	+ 2 d
アイテム鑑定	4			4	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
戦士の環	
蝶の巻物	
魔導剣増幅器	
戦王の武器飾り	
リムブースト・リフレクス	
小道具入れ	
聖水*5	
グレートHPポーション*50	
グレートMPポーション*50	
異次元バッグ	
ベルトポーチ	

現在重量： 115		
最大重量： 162	所持金： -1984335	預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
チューニング	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果：能力基本値をふたつ選択し、キャラクター作成時に、選択した能力基本値の片方に+4し、もう片方に-1								
ボルテクスアタック	1							
効果：								
スマッシュ	1							
効果：								
バーサーク	1							
効果：								
セイクリッドダンス	2							
効果：								
ミュトスノウリッジ	1							
効果：								
マシンリム	1							
効果：								
フックダウン	1							
効果：								
サクセション	1							
効果：								
フェイス：アーケンラーヴ	1							
効果：								
トレーニング：筋力	1							
効果：								
トレーニング：器用	1							
効果：								
トレーニング：精神	1							
効果：								
シックスセンス	1							
効果：								
エンラージリミット	1							
効果：								

「悪を知らぬ機械こそが真に無垢だ。巫女として相応しい」
私は神社で起動した。当時こそよく分からなかったものの、今となっては、機械仕掛けの巫女を用意することはある意味で信仰深いことだった。
命じられた通り、私は舞った。常に、ただ、舞い続けた。祈りというものは、私にはなかった。心も、なかった。ただ私は舞った。
ある時、ある男に、私は神社から連れ去られた。どうやら周到に用意をしていたらしく、するりと抜け出してしまったし、その後、追手の姿を目にすることも、耳にすることも、一度もなかった。その時私は無抵抗で、何も思わず、ただ攫われた。
彼の思惑は定かではなかったが、あの表情は憐憫というものだと、今では理解できた。どうして私を憐れむのかも、理解できた。
私は男に連れられ、様々な国を旅した。あの島国から海を越え、食の国へ渡り、やがて竜の国へ辿り着いた。そうした旅の中、私は人間らしさというものを手に入れたのだと思う。
竜の国で、私はほとんどの生活を過ごした。私は、彼と共に、冒険者として多くの経験を得た。彼は武器と魔導を織り交ぜる技術を扱っており、私は彼に習って、独特な武具で仕事をした。そんな中で、とある冒険をきっかけに、私は一頭の竜と心を通わせた。それ以来、私は騎竜術と併せて、一般的な騎乗術を習得することに熱心になった。
ある時、彼は砂漠を越え、西へ行くと言った。私と竜はついて行くと言った。もう一度、旅が始まった。
私と彼は竜に乗り、空から街道を辿って砂漠を跨いだ。やがて砂漠の先の山脈を越えて、西方世界へと辿り着いた。
巫女として舞っていたからなのか、まず西方のダンサーたちに興味を引かれた。色味は随分と違ったが、激しい舞を会得し、それを披露することを、私は楽しく感じた。
ある時、彼と共に巨大な海洋生物の討伐依頼を受けた。報酬目的に協力した海賊たちの働きもあり、その討伐は成功した。彼は海洋生物の触手を採取し、それを武器に加工した。加工するのに随分と費用がかかったようだったが、私にくれた。彼は、その性能に満足していなかったらしかった。その後も、彼は討伐依頼を特に引き受けた。
彼の目的は、究極の武具を見つけることだった。そのために私を巻き込むことを、やがて彼は嫌がった。討伐依頼が減っていったのも、私を気遣ってのことだった。その時、私はそれを理解できた。私が彼の近くにいては、彼は充分な追究ができない。
ある日私は、彼に巣立ちの意志を伝えた。彼は彼の人生を充分に送るべきで、私もまた、私自身の生きる目的を見つけるべきだった。彼は私との別れを惜しんだ。離別を告白した時、彼はすぐに答えをくれなかった。数日経って、彼はとうとう私の旅立ちを認めた。

キャラクター名
サチ

プレイヤー名

所持品			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
インテンション	1							
効果：								
イミューンウェイト	1							
効果：								
アイテムマスタリー	1							
効果：								
キャッチアウト	1							
効果：								
ファーストエイド	1							
効果：								
キャンセルマジック	1							
効果：								
マジックキャンドル	1							
効果：								
オウルアイド	1							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								